

## 別紙

## 第59回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分科会名	第1分科会	演題番号	108
題名	市民に向けた野菜摂取量増加推進の取組について		
所属	健康福祉部健康増進課		
氏名	渥美 久美、木谷 朋子、松井 友香		
要旨 (簡潔に)	<p>本市は静岡県の他市町に比べて糖尿病予備群が多く、「健康増進計画等の評価における健康調査(2016年)」では、20～44歳で1日野菜350g以上を摂取している人の割合も前回調査に比べて9.2ポイント減少しているなど、野菜摂取量が不足している現状がある。</p> <p>この状況を踏まえ、2020年度より、野菜の摂取状況を数値として見える化できる「皮膚カロテノイド測定器」を活用し、小中学校における聖隷浜松病院等との共同研究や保健所内においてモデル事業を実施し、野菜摂取量増加推進の取り組みを始めた。事前に対象者に対し食生活調査を実施し、期間をあけて3回測定することで、野菜摂取状況の改善及び意識の向上につながったことから、今年度より、本市の事業として(1)官民学共同研究事業の推進、(2)地域企業の健康経営の推進、(3)はままつ食de元気応援店キャンペーン事業の3本を柱とし、「市民に向けた野菜摂取量増加推進事業」を展開している。令和4年10月末時点の事業効果として、企業2社では、約7割の従業員に食生活の行動変容が見られた。また、高等学校では、養護教諭と連携し、「家庭の食卓に用意された野菜を食べるようにした」等の行動変容に結び付けることができた。</p> <p>今後の展開として、①家庭科、養護教諭、地域の食育ボランティア等と連携し、家庭を含めた若い世代(学童期・思春期)にむけての取り組み、②青壮年期に対しては、主体的な健康経営の取り組みにつながるよう継続した企業との連携、③食品関連事業者との連携、④20歳代女性の「やせ」の課題から、妊産婦を含む若年女性への対象拡大などを計画している。</p>		